



「2020年3月ダイヤ改正」に関する団体交渉を行う！その①

1. 公共交通機関としてダイヤ改正を実施する根拠を明らかにするとともに、「2020年3月ダイヤ改正」に伴い、現行ダイヤの成果と課題を明らかにすること。また、「安全性、輸送・サービス品質、収益、働きがい」がどのように改善されるのか具体的に明らかにすること。

《会社の回答》

2020年3月ダイヤ改正においては、「成田エクスプレス」東京～成田空港間の全列車を12両で運転、中央・総武各駅停車で早朝・深夜帯の運行体系を変更、京葉線・武蔵野線の混雑緩和を図る等、お客様のご意見やご利用状況を踏まえ、利便性向上を図っていく考えである。

《その他の回答事項》

- ・しおさいの時刻変更は九十九里、銚子方面への観光需要の拡大を期待して行うものであり、行き先地での滞在時間を増やすことを目的としている。
- ・4月1日からの法改正に踏まえ、社員が使用する喫煙所は今後事業所に一つが基本となる。運輸区本区には一つ設置となる予定。詳細は決定次第、社員に周知する。

ダイヤ改正後の検証は、お客様のご利用状況や社員の意見に踏まえて労使双方で行っていくことを確認！

2. 東京オリンピック・パラリンピックに向けての準備期間及び開催期間中の輸送体制について明らかにするとともに、ゆとりをもって業務を行える体制を構築すること。

《会社の回答》

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、輸送計画等を検討している所である。なお業務に必要な要員は確保していく考えである

《その他の回答事項》

- ・輸送体制について、オリパラ期間中は競技会場最寄り駅を中心に要員を配置することを検討している。各線区の終電の延長、京葉線・武蔵野線の日中帯の増発。鹿島サッカースタジアムへの臨時列車の運転なども検討。
- ・期間中はオリ・パラに関連しない多客臨や団臨などの臨時列車の運転、研修、出張についても基本的に発生させない考えである。
- ・終電延長については臨時ではなく、基本行路を延長させることにより対応することを考えている。
- ・区所間で行路の移管を行うことにより、基本的に全運輸区がオリ・パラ輸送に関わることとなると想定している。
- ・ダイヤ改正から成田空港と空港第2ビル駅のNE Xと快速の停車時分を伸ばす。

オリ・パラ関連輸送に配慮した人員配置をする考えを示す。現在は検討段階であるが、決定後に社員周知することを確認！！

3. 中央・総武緩行線で早朝・深夜帯の運行体系を変更することにより、期待できる効果を明らかにすること。

《会社の回答》

御茶ノ水折り返し運転を取り止め、終日で直通運転を実施することで、利便性向上を図っていく考えである。

《その他の回答事項》

- ・列車間隔の均等化を図り、採時駅の変更を行うことによって混雑緩和を図ること。また、標準時刻表より早く発車することを避けることにより、お客さまからのご意見をいただくリスクを防ぐ。